



1979年製のバンドソーが現役で大活躍！

原木を板に加工するバンドソー「BS-650」はなんと40年選手！「リョービ東和」時代の製品で職人歴50年の梅村さんがいまでも使い続けている。工場で最も古い工具のひとつ。

フィンガーボードにポジションマークを入れる卓上ボール盤「TB-2131」は、印が均一になるよう掘りの深さが固定してある。



創業83年ヤイリギターを支えてきた、リョービの電動工具たち



現在ヤイリギターには30名の職人が所属。歴50年の小池さんは国内外の著名なミュージシャンのギターを多く手掛け、腕利きの職人として知られている。若手からベテランまで腕のいい職人たちがヤイリブランドを支えている。

Special Thanks!



ヤイリギター K.Yairi

◎岐阜県可児市下恵土3230-2
☎0574-62-1138
http://www.yairi.co.jp/

集じん機は、小川さんのように工場の内で作業する職人には、そろえておきたい電動工具のひとつなのだ。

集じん機は、小川さんのように工場の内で作業する職人には、そろえておきたい電動工具のひとつなのだ。

集じん機は、小川さんのように工場の内で作業する職人には、そろえておきたい電動工具のひとつなのだ。

集じん機は、小川さんのように工場の内で作業する職人には、そろえておきたい電動工具のひとつなのだ。

集じん機は、小川さんのように工場の内で作業する職人には、そろえておきたい電動工具のひとつなのだ。

集じん機は、小川さんのように工場の内で作業する職人には、そろえておきたい電動工具のひとつなのだ。

集じん機は、小川さんのように工場の内で作業する職人には、そろえておきたい電動工具のひとつなのだ。

集じん機は、小川さんのように工場の内で作業する職人には、そろえておきたい電動工具のひとつなのだ。

集じん機は、小川さんのように工場の内で作業する職人には、そろえておきたい電動工具のひとつなのだ。

集じん機は、小川さんのように工場の内で作業する職人には、そろえておきたい電動工具のひとつなのだ。

【近年増えているマイクの取付け】アコースティックギターのカスタマイズ作業



「ベルトディスクサンダー」で研磨

BDS-1010 ベルトディスクサンダー

実勢価格2万4800円（編集部調べ）

ベルト寸法:100×915mm ディスクペーパー径:150mm（マジック式） サイズ:長さ450×幅210×高さ290mm



「集じん機」を接続して粉塵を吸引

小川さんは至近距離で研磨するので粉塵を吸い込んでしまうことが悩みだったが、集じん機と接続することで解消。小さな牛骨を削る時にディスクペーパーの指が触れないよう、常に爪を伸ばしておくのはギター職人あるあるだとか。

VC-1150 集じん機（乾湿両用）

実勢価格1万4800円（編集部調べ）

集じん容量:乾燥 15ℓ、液体 12ℓ、吸込仕事率:280W サイズ:長さ345×幅350×高さ435mm



削った牛骨とセンサーが満ちびったりはまるとセンサーが振動をひろってマイクから音が出る。

「ドライバドリル」で穴あけ

CDD-1020 ドライバドリル

実勢価格7180円（編集部調べ）

最大穴あけ能力:

鉄工 8mm、木工 21mm トルク調節:20段クラッチ、サイズ:長さ220×幅62×高さ180mm



6本の弦を支えるブリッジ。マイク用センサーを通すサドル溝をドライバドリルであける。



マイク取付け用に12mmの穴をあける。

写真/熊倉義久 文/浦山真由美(WPP)

83年間変わらず手仕事でつくられているヤイリギター。ギターづくりと向き合う職人のそばにある電動工具を拝見。

国産ギターの聖地・ヤイリギターへギター職人に必要な電動工具とは？

職人がヤイリギターで自身のブランドを立ち上げたのは小川さんが初めて。ヘッドには「K.Yairi」と「VINCENT」の文字が刻まれる。



ヴァンセントモデルのデザイナー

VINCENTギター 小川浩司さん

21歳から20年間ヤイリギターで修業を積み2016年に独立。岐阜県美濃加茂市に工房を構え、ヤイリギター「ヴァンセント」モデルを立ち上げた。デザイン・メンテナンスのほか、オーダーギター製作を行っている。

☎0574-27-2748 https://www.vincent-guitar.net/

「50年以上使い続けているものも少なくないですよ」と案内してくれたのは小川浩司さん。ヤイリギターで修業を積んだ後、自社ブランド「VINCENT」を立ち上げた現役のギター職人だ。独立後に構えた工房にも、自身で選んだ工具が並んでいる。

約200もの作業工程があるギターづくり。工程ごとに工具を使い分けるので、さまざまな種類が必要だ。

約200もの作業工程があるギターづくり。工程ごとに工具を使い分けるので、さまざまな種類が必要だ。